

マスメディアの力

さいとう ちあき
齊藤 千秋

電機連合・総合研究企画室・事務局長

今年のB-1グランプリの優勝は「甲府とりもつ煮」だった。その翌週、甲府には、一度とりもつ煮を食べたいと言う人が全国から集まり、市内は大渋滞になったらしい。しかし、そもそもB-1とは何か。B-1の「B」とは、「B級ご当地グルメ」を言い、「安くて旨くて地元の人に愛されている地域の名物料理」のことを言うらしい(主催者HPより)。順位付け方法は、会場で使った箸が投票に使われ、会場が一番おいしいと思った商品の投票箱に箸を入れ投票を行い、総重量で順位付けが行なわれる。5回目の開催となった今年は、開催場所(厚木市)の便がよかったことも功を奏したかもしれないが、2日間の開催で43万人を動員したとニュースは伝えていた。

そのニュースを見た数日後、ある人から「家電品のCMに男性アイドルグループを起用したところ、CMで流れた赤の掃除機を指定で購入する人が多い」という話を聞いた。全く機能が同じであってもアイドルがCMで使っている赤以外の色では駄目らしい。

甲府のとりもつ煮にしても赤の掃除機にしても、マスメディアの力がブームとヒット商品を作り出している。

一方で、インターネットの登場によりマスメディアの存在価値は変化してきている。インターネットが登場するまでは、私達の情報入手源はテレビや雑誌であったが、ここ数年、ブログやツイッターなど、ごくごく個人的なことを綴る・つぶやくことがオープンなネット社会で行なわれてきていることから、それらを通じて情報を入手することも少なくない。芸能人の結婚

報告も本人のホームページで発信されたことで発覚をしたり、飲み会の店探しや旅行先の選定には利用者の声などを参考にしながら決定することも多い。

インターネットを通じて入手する情報は、マスメディアが発信する情報よりも素人が発信している情報もあるがゆえ身近に感じることもあるが、裏サイトに誹謗中傷を行ない、個人を傷つける人がいるなど社会問題も深刻化している。北海道のある死傷事件では、同じ名字、同じ職業ということだけを理由に、事件とは全く関係ない個人の会社に電話やFAXで攻撃し、ビジネスに悪影響を与える事態も発生している。

今、私たちの暮らしには多くの情報が氾濫している。その多くの情報から正しい情報を選定していく能力、また、正しく利用する能力が、求められている。情報が改ざんされたり、加工されることで容易に真実が歪められてしまう社会で、多くの情報の中から正しいものを見極めることは困難になりつつある。情報に惑わされず、流されず真髄を見抜く力が今後ますます重要になってくる。

個人が情報を発信できるインターネットに対し、マスメディアはプロが発信する情報であり、多くの視聴者が信頼するがゆえに社会を動かす力を持っている。だからこそ、国民・市民をミスリードしないよう、常に正しい情報を提供していくことがマスメディアの使命である。B級グルメを紹介することに留まらず、真の町興しにつながる報道を、アイドルが使っている赤い掃除機だけでなくその技術開発の苦労・素晴らしさを伝えられるマスメディアであってほしい。